

「ピアタル自治区灌漑設備改善計画」

在エクアドル日本国大使館において、平成26年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「ピアタル自治区灌漑設備改善計画」のための、当館とカルチ県による贈与契約署名式が行なわれました。

供与額： 9,646,650円

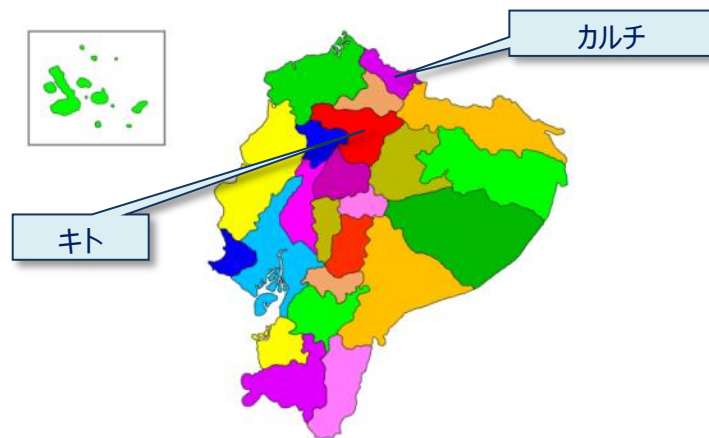
贈与契約締結日： 2015年1月26日

計画実施前

カルチ県モントゥファル市ピアタル自治区では、近年の降水量減少の影響と雨水による作物・牧草栽培が困難な状況を受け、2010年に同県が同自治区中心部までの基幹水路を含む灌漑設備を建設しました。しかし、資金不足により配水用の管水路を設置できず、残りの二次水路として、手掘りの開水路が住民の協力により設置されました。コンクリート等による管路の形成・保護がなく、土道を掘った溝に過ぎないため、農地に灌漑用水が届くまでに地中に浸透してしまい、用水の損失が大きく、同地区の要灌漑面積計461ヘクタールに対し、既存設備による灌漑面積は250ヘクタールと4割以上の農牧用地において必要な灌漑用水が行き届いていません。対象地区においては農地面積2ヘクタール未満の小規模農家が圧倒的多数を占めており、農業生産は不安定で生産性も低くなります。このため、地域住民は都市への出稼ぎや近隣の大規模農園での日雇い労働などで生計を立てています。また、同自治区中心部の人口増加とともに当初の基幹水路の上にも住宅が建ち並び始めたため、住宅地を通らない基幹水路の設置も求められています。



本計画は、前述の自治区において管水路式灌漑設備一式を設置することにより、対象地区の約461ヘクタールの土地に灌漑用水が給水され、農業生産の安定化及び向上に貢献しようとするものです。



署名式

